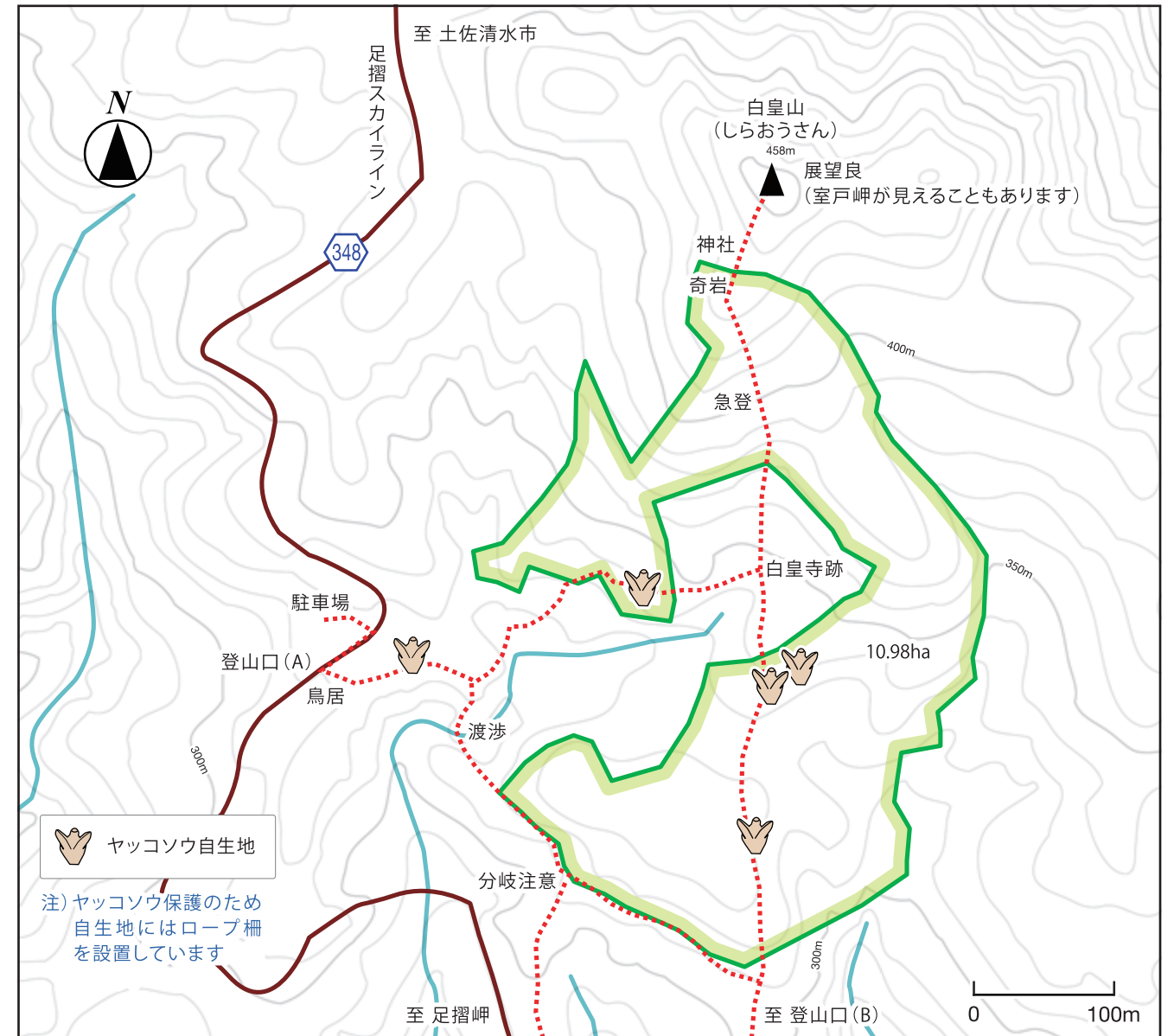
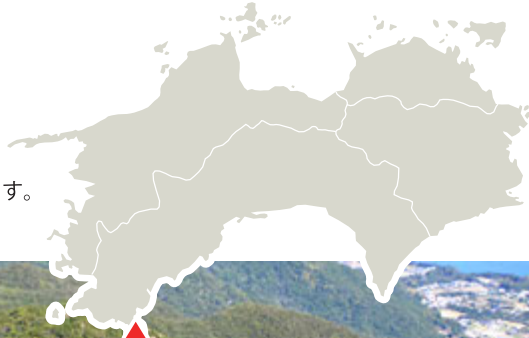


さだやま 佐田山シイ林木遺伝資源保存林

当保護林は樹齢140年を越えるシイやアカガシの大木が生え、貴重な生態系を作っています。10月下旬から12月上旬ごろ、林床にはシイの根に寄生する不思議な植物ヤッコソウが顔を見せます。写真:上空から見た保護林。豊かな暖温帯林が広がります。



①シイ(スダジイ)の大木。この森にはシイのほかアカガシ、イスノキ、ホソバタブ、バリバリノキなどが生育しています。②ヤッコソウ。シイの根に寄生し10月下旬から12月上旬ごろに顔を出します。授粉後は中に微小な種子ができ、アリが種子を運びます。③足摺岬。岬全体が足摺・宇和海国立公園に指定されています。この一帯では亜熱帯を想わせる森が広がっています。④キジョランとアサギマダラの幼虫。林内にはキジョラン(つる植物)が生育しており、渡りで有名な蝶アサギマダラ(成虫写真:p.4)の幼虫が見られます。